

## 7月の行事予定

4日(火) ひまわりプロジェクト  
 5日(水) ひまわりプロジェクト予備日  
 7日(金) 誕生会、七夕  
 8日(土) 親の会夏祭り  
 19日(水) 青色パトロール車訪問  
 25日(火) 避難訓練



## 8月の行事予定

12日(土) } 後日おたよりを配布します  
 14日(月) } お盆合同保育  
 15日(火) }  
 17日(木) } 避難訓練  
 17日(木)~18日(金) } なかよしキャンプ(卒園児)  
 25日(金) } 誕生会、そらキャンプ説明会

後日おたよりを配布します

お盆合同保育

避難訓練

なかよしキャンプ(卒園児)  
 誕生会、そらキャンプ説明会

※行事は変更する場合があります。ご了承ください。



## 職員紹介&いいことさがし

がさわ よしこ (はなゆき組)

- ① 愛犬との散歩  
映画を観に行くこと
- ② 収穫した野菜で料理をすること  
(コロッケや肉巻きなど)
- ③ この夏を乗り切るため適度な運動をしたり、おいしい物を食べようと思っています。

- ① 特技
- ② 趣味
- ③ ひとこと

↓お互いのいいところを伝え合っています↓

にしむら れん (はなゆき組)

- ① 一輪車
- ② バスケ
- ③ 新任ですが、子どもたちの成長に携われるように精進します。これからよろしくお願ひ致します。

今月は、ほんわか、ほのほの、はなゆき組のこの2人です。



我澤先生はいつも元気で子どもたちを笑顔にしてくれます。子どもたちの興味をひく保育がすてきで見習いたいです。(西村より)

西村さんはダンスが得意で、動きにキレがあります。子どもたちに「できたね」など優しく声を掛けて、一緒に喜んでいるところがとてもすてきです(我澤より)

## ～みんなで子どもを見守る～ 架け橋プログラム

架け橋プログラムとは…小中学校や幼稚園、保育園が情報交換や関わりを持つことで子どもたちが就学時にスモールステップで進んでいくことができるようにしようと始まったプログラムです。磐梨中学校、磐梨小学校、豊田小学校、いわなし幼稚園と連携をとりながら進めています。この地域に関わる大人が子どもたちの育ちを共有しながら、今の子どもたちに必要なことは何なのかを考えています。

5月の小学校の運動会の時に、応援幕をみんなで作って飾っていただきました。



豊田小1年生の皆さんにシャボン玉あそびに呼んでもらいました。「これ一緒にしよう」と1年生に声を掛けてもらい、空き箱やうちわなどのいろいろな素材を使って楽しい時間を過ごしました。

# やまびこだより

社会福祉法人岡山子ども協会 とよた保育園

赤磐市松木 549 TEL 995-0244

令和5年7月3日発行

300号



## 伝統の太鼓

とよた保育園には、伝統的なそら組太鼓があります。私かとよた保育園に異動してきてから約4年間そら組に太鼓を伝承しています。新年度になり、5月頃から少しずつ太鼓を始めると子どもたちからは「太鼓したかった」「どうやってするの?」「用意もしたらいい?」と口々につぶやいていました。ワクワクと楽しみにしていた気持ちがとても伝わってきました。

初めはバチの持ち方や足を肩幅に広げるといった基本的な姿勢を子どもたちに話をします。毎日の朝夕の集まりをする時のこどもの姿とはまた違い、背筋を伸ばして、話をしている人の目をみながら真剣な表情で聞いています。取り組み始めは保育者が大きな声を出して、カウントをとり、子どもも一緒にリズム打ちをしていました。今では子ども自身が大きな声で「いーち、にーい…」と保育者と一緒にカウントしながら打ったり、子ども同士で「この時は、右足が前になるよ」「腕はピンって伸びている方がかっこいいよ」「いい音出すには、足を広げて…」などアドバイスをしながら切磋琢磨しています。

小さい時から、見てきた太鼓。憧れだった太鼓。子どもたちのワクワクや楽しみな気持ちを大切にしています。また、そのクラスに合った伝え方を毎年工夫しながら取り組むことができるように考えています。

今年度のそら組の太鼓は、どんな音色になるのか、どんな表情でしているのかなど想像しながらお披露目の時を楽しみにしていただいね。

内田 沙緒里



とよた保育園ホームページ URL とQRコード  
<https://toyota.okayamakodomokyoukai.jp>

## 自分で考え行動する子

園生活は子どもたちのものです。園生活を主体的に過ごすためにその年齢なりに「自分はどうすればいいのかわかるか」を考え決めることができるようにしています。子どもは友だちが自分とは異なった考え方をしていることに気づいたり、直接的な体験から多くのことを学んだりします。自分で「ああそうか」と分かることが大切です。そうして、相手の立場も理解しながら、自分のことを自分で決められる子どもが育っていきます。

### つくしグループ

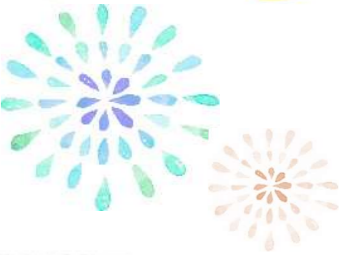


毎朝夕、子どもと一緒に園内にある畑の野菜に水やりをしています。夏野菜もどんどん大きくなってきたことを実感していたある日のこと。「あっ！ここに緑のトマトができてる」「こっちのは小さい」「あっちにはキュウリもできてる」と実ができていることを発見しました。すると「でも、トマトはまだ赤くないからまだ収穫できないね」「もう少し待ったら赤くなるよ」と今まで経験してきた子どもたちは、収穫時はいつかな？と毎日観察をしています。その中で見計らっているのを子どもたちの会話の中から感じました。

子どもと毎日観察しながら、大人が伝えるのではなく、子どもたちが収穫する時期がわかるようになればと思います。



### たんぽぽグループ



日中、ごっこあそびをしている友だちの輪にAさんが「いれて」と声を掛けに行きました。丁度そのタイミングでお茶タイムになり、遊んでいた子どもたちがお茶を飲みに行ったため、Aさんは自分の声を聞いてもらえず悲しそうにしていました。その姿をBさんが見て「Aちゃん、何がしたいの？」と声をかけています。そのやりとりを見ていた保育者が「Aちゃん、氷鬼がしたいんだって」とBさんに伝えると、「そうなん？じゃあ氷鬼しようよ。みんなに声かけてくる。」と言って他の友だちに声をかけに行きました。その後、氷鬼にたくさんの子が参加してみんなで遊ぶことができ、Aさんも嬉しそうにいました。友だちの姿に目を向けて気づき、声をかけることができ、そこから子ども同士で共有し、あそびが発展していったことに子どもたちの成長を感じたひとときでした。

### にじ



部屋にたくさんの積み木を出すと、子どもたちはそれぞれ手に取り、自分の好きなように積み立てていきます。最初は一人で遊んでいましたが、少しずつ友だちに「一緒にしよう」と誘い合い、共同で一つの物を作っていくようになりました。「見て！高くなったよ」「お城ができた」と喜ぶ子どもたちを見ていて微笑ましいです。

高く積み上げていくとやはりバランスをとるのが難しく、崩れることもあります。その崩れる様子や音が面白いようで、笑いが絶えません。崩れても、「また作ろう」と生き生きと積み上げる子どもたち姿がすてきです。あそびの中で「友だちと一緒に楽しいな」と感じたり、高く積み上げることに何度も挑戦したりする面白さ、意欲が子どもたちの考えるきっかけになり、友だちをあそびへと誘う行動につながっているのだと感じました。

### はな・ゆき



外で遊ぶことが大好きなCさん。この日は朝から外へ出て遊んでいました。暑くなってきたので「そろそろおやつにしようか」と子どもたちに声を掛けて、順番に部屋に入っていると、いつもは最後まで外で遊んでいたCさんが、自分から靴を脱いで、下駄箱に靴を片付け、手を洗いに向かっていました。直接声をかけたわけではなかったのですが、自分で外あそびに満足して部屋に入ってくるCさんの姿を見て、まだあまりしゃべらない小さな、はなゆき組の子どもたちも「こうしよう」と日々いろいろなことを思い、考えながら過ごしているのだと感じました。こどものやろうとするタイミングをしっかり受け止めたいと思います。

